

2020年11月19日

報道関係各位

慶應義塾大学
三菱地所株式会社

慶應義塾大学と三菱地所が、横浜・関内エリアでの オープンイノベーション推進に向けた共同研究を開始

－ 横浜・関内に With/After コロナ時代を見据えた情報発信拠点を設置 －

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（以下、慶應 SDM）と三菱地所株式会社（以下、三菱地所）は、関内ベンチャー企業成長支援拠点事業共同企業体（代表企業：三菱地所）が横浜市との協働事業により運営する関内ベンチャー企業成長支援拠点「YOXO BOX（よくぞボックス）」において、横浜におけるオープンイノベーションの推進とビジネスエコシステム形成を目的とした共同研究契約を、2020年11月2日に締結しました。

慶應 SDM は、ものごとを俯瞰的かつ体系的に捉えるシステム思考と、ものごとを人間中心で考えて多様性を活かして新価値を創造するデザイン思考を融合したシステム×デザイン思考の研究・教育を実施するとともに、その実社会への実装を行っています。

三菱地所は、「イノベーション都市・横浜」の実現に向けて、横浜・関内で、横浜市との協働事業により、ベンチャー企業を支援しオープンイノベーションを推進する拠点「YOXO BOX」と、自主事業として、イノベーション創出の新たな担い手となる企業・起業家の活動拠点「YOXO BOX オフィス」を運営しております。

With/After コロナ時代のニューノーマルが創られていく中、デジタルトランスフォーメーションはますます進化し、オンラインでのコミュニケーションや情報発信の機会は増えていくことが見込まれます。一方で、イノベーション創出のためにはオフラインでのコミュニケーションも不可欠だと再認識されてきています。

そこで、こうした時代における産学連携のイノベーション創出や交流機能のあり方について研究することを目的に、この度、両者は共同研究契約を締結するに至りました。

本共同研究契約の締結に伴い、両者は「YOXO BOX オフィス」の一室に各種機材を整備したオンラインコミュニケーションスタジオを設置し、慶應 SDM のオンラインワークショップ等の発信の場として活用しながら研究を進めてまいります。また、「YOXO BOX」を中心に広がるビジネスネットワークを起点に、ベンチャー企業や起業家と慶應 SDM との協働・交流の機会を創出することで、横浜・関内エリアでの更なるオープンイノベーション促進やビジネスエコシステムの拡大・拡充を目指します。



参 考

1. 「イノベーション都市・横浜」宣言・YOXO（よくぞ）

横浜市は、2019年1月、市内企業や大学等との連携により、まちぐるみで人材交流やビジネス創出等に取り組む「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。イノベーション都市・横浜の旗印として、(ヨコハマ・クロスオーバー)「YOXO」いうキャッチフレーズ・ロゴを定め、企業・大学等の人材連携を進めています。



2. 「YOXO BOX」および「YOXO BOX オフィス」

「YOXO BOX」は、本拠点が横浜に新しい交流を生み出すためのサンドボックス（砂場=実験場）となるという意味を込めて命名しました。「YOXO BOX」では、「イノベーション・都市」横浜推進に向け、以下のような活動を行っています。

- ◆ ベンチャー企業等を対象とした成長支援プログラム
(YOXO アクセラレータプログラム)
- ◆ 起業志望者を対象としたビジネス講座
(YOXO イノベーションスクール)
- ◆ ベンチャー支援の専門家による個別相談
- ◆ イノベーション創出のための交流・ビジネスイベント

また、「YOXO BOX」に併設するビジネス支援付サービスオフィスとして、三菱地所にて「YOXO BOX オフィス（全12室）」を運営しています。



< 「YOXO BOX」アクセス >



< 「YOXO BOX」オフィス >

以 上